

ラオックスグローバル EC アリババ傘下の Lazada を通じて東南アジア市場へ

2020年初頭に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が発生して以来、外出自粛により生まれた新しい消費需要“巣ごもり消費”が注目され、EC 需要が大きく加速しました。この度、ラオックス株式会社（以下、当社という）はグローバル EC 事業においても、従来の T-mall Global（天猫国際）、Suning.com（蘇寧易購）、Kaola.com（網易コアラ）、RED（小紅書）の4つの海外旗艦店に加え、新たな販売チャネルとして東南アジア市場をターゲットとしたプラットフォーム「Lazada」※への出店を開始しました。

8月初旬に「Lazada」ショップ内にて一部商品のテスト運営を行い、現在はチャネル名を「LazMall」としてインドネシア、シンガポール、フィリピン、マレーシアの4カ国で展開しております。今後もラオックスグループのリソースを活用することで、中国市場のみならず東南アジアへと市場を拡大し、グローバル視野に EC 事業を発展させてまいります。各国と地域の消費ニーズを研鑽し、確実にマーケット拡大を進め、揺るぎのない売り上げ基盤を築き上げています。

※Lazada・・・2012年3月に設立された東南アジア最大の EC サイト。現在はアリババグループの完全子会社として、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムの6カ国をカバー。合計約5億5千万人の顧客（年齢層は主に26歳から35歳）に直接コンタクトできる仕組みとなっている。



※写真概要：Lazada EC サイト

「本件に関するお問い合わせ先」
ラオックス株式会社 経営企画部 TEL：03-6852-8881